

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 (地方創生先行型) について

◎交付金の目的

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）は、まち・ひと・しごと創生法第9条第1項及び第10条第1項の規定に基づき都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略又は市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「地方版総合戦略」という。）を策定し、並びに地方版総合戦略の策定に先行して行う事業であって地方版総合戦略に位置付けられる見込みのものを実施するために、都道府県及び市町村が作成した地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）実施計画に基づく事業に要する費用に対し交付するものである。

地方版総合戦略の円滑な策定とこれに関する優良施策の実施を支援することを目的とし、対象事業は地方版総合戦略の策定事業及び総合戦略に盛り込まれることが想定される事業としている。

◎効果の検証

事業実施に伴う効果について、重要業績評価指標（KPI）を設定の上、その達成度合いについて、別に定めるところによりその効果を検証し、内閣総理大臣に報告するものとする。

◎地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）実施計画事業

番号	事業名称	実績額（円）
1	東村山市総合戦略策定事業	9,489,713
2	若者文化創造事業	2,971,902
3	乳幼児向け読書推進による子育て支援事業	3,923,297
4	子育て総合支援センター情報発信事業	1,976,400
5	保育環境改善事業	23,013,059
6	国内販路拡大事業	14,897,091
7	観光情報発信事業	3,802,356
8	防災ガイドマップ作成事業	9,213,480
9	シティプロモーション推進事業	3,682,169
		72,969,467

1. 東村山市総合戦略策定事業

担当課：都市マーケティング課

◎事業目的

国は、将来にわたって「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」を目指した地方創生の実現に向け、まち・ひと・しごと創生法を平成 26 年 11 月に制定。これを受け、地方公共団体では、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案し、平成 27 年度中に、地方公共団体における人口の現状と将来展望を示した「地方人口ビジョン」及び、地域の実情に応じた今後 5 ヶ年の施策の方向等を示した「地方版総合戦略」の策定に努めることが求められた。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

○事業内容

- ・平成 27 年 7 月～10 月にかけて、「東村山市創生総合戦略検討協議会」を 5 回開催。
- ・東村山市人口ビジョン・東村山市創生総合戦略の策定。
- ・住民の結婚・出産・子育て及び定住意向等に関する意識調査の実施及び結果の集計、分析

◎KPI（重要業績評価指標）

K P I 設定なし

○担当課所見

27 年度中に、「東村山市人口ビジョン」、「東村山市創生総合戦略」を策定した。今後は、策定した総合戦略の推進及び、具体的な施策の進捗管理を進める。

◎経費内訳

項目	実績額（円）	備考
東村山市創生総合戦略検討協議会 委員報酬	240,000	
総合戦略策定用消耗品費	1,375	
総合戦略策定用郵送料	14,338	
総合戦略策定支援業務委託料	9,234,000	コンサルタントへ委託
合計	9,489,713	

2. 若者文化創造事業

担当課：行政経営課

◎事業目的

若者の出会いの場の創出、及び若者が好む文化事業を展開し、ふるさと意識を醸成するとともに、若者の定住意識を向上させる。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成 27 年 7 月～平成 28 年 2 月

○事業内容

- ・まちジャム 2015 への補助金交付 7/24、7/25 開催

まちジャムは、平成 26 年に始まり市民団体であるまちジャム実行委員会が中心となつて、市内の飲食店や施設等で、様々なジャンルの音楽 Live を同時開催するイベント。

- ・市内をバスで回り、東村山のグルメや観光スポットを体験していただく婚活イベント「チーム対抗婚活サイコロバスツアー in 東村山」(別添 1) の実施

11/28 開催 43 名参加 (うち男性 23 名、女性 20 名)

- ・市内を歩いて回り、地元グルメを味わいながら交流していただく婚活イベント

「トレジャーストーンタウン in 東村山」の実施

2/20 開催 11 名参加 (うち男性 6 名、女性 5 名)

◎KPI (重要業績評価指標)

若者の定住意向を毎年度増やす。

- ・婚活イベントでのアンケート結果

「今後も東村山市に住み続けたいと考えていますか」 はい 87.5%

「市が若者向けイベントを支援することについてどう思いますか」 良い 89.3%

○担当課所見

まちジャムについては、今回補助を行った事により、今後主催する市民団体が市の補助金等に頼らず自走して実施していく事が出来る状況である。婚活イベントについては、今回初めて試行的に市民団体に対する補助を行ったが、今後は、既存の補助事業(例：市民提案型公益活動事業補助金)との連携や移行等の検討、または違う形での婚活施策の展開について検討する必要があると考える。

◎経費内訳

項目	実績額 (円)	詳細
若者文化創造事業補助金	1,000,000	まちジャム 2015
若者文化創造事業補助金	998,779	チーム対抗婚活サイコロバスツアー in 東村山
若者文化創造事業補助金	973,123	トレジャーストーンタウン in 東村山
合計	2,971,902	

3. 乳幼児向け読書推進による子育て支援事業

担当課：図書館

◎事業目的

図書館に来館する乳幼児受け入れ環境の改善を目的に、図書備品（乳幼児向け絵本）の入れ替え、乳幼児向けの読み聞かせプログラムと保護者向け講演会を実施し、子育て世代の施設利用度の向上を図る。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月

○事業内容

- ・富士見図書館のカーペットの老朽化にともなう張り替え。
- ・中央図書館、富士見図書館、萩山図書館の子ども用トイレを和式から洋式へ改修。
(他の 2 館（秋津図書館、廻田図書館）は既に洋式となっている。)
- ・中央図書館の子どもスペースに、授乳コーナーを設置。
- ・読み聞かせの際に利用してもらう、**絵本リスト（別添 2）**の作成。4 種 32,000 部。
- ・絵本リスト掲載図書など、434 冊購入。
- ・乳幼児向け読書推進事業として、託児つき講演会を 2 回実施。
12/1、12/8 開催 2 回合計 36 名参加
- ・読みきかせ事業の周知用リーフレット 2 種 4,000 部、ポスター 2 種 100 枚を作成。
- ・上記各種事業の事務補助のため臨時職員を任用。

◎KPI（重要業績評価指標）

図書館の利用満足度を毎年度増やす。

○担当課所見

トイレの改修や授乳コーナーの設置など、乳幼児受入環境を改善することが出来た。
さらに、今回作成した絵本リストや購入図書を活用することにより、保護者に図書館利用や家庭での読み聞かせを一層促すとともに、読み聞かせボランティア（現在約 70 名）と協働して市内の子育て関連施設での乳幼児の読書推進を行う。

◎経費内訳

項目	実績額（円）	備考
富士見図書館児童コーナーカーペット修繕	129,600	
図書館トイレ改修工事	1,296,000	
中央図書館授乳コーナー設置工事	53,568	
ブックリスト等製本	497,664	絵本リスト 4 種の作成
図書備品購入	399,996	絵本リスト掲載図書をセットで全館に導入
講演会講師謝礼（2 回）	38,000	
講演会保育業務委託（2 回分）	23,016	
臨時職員賃金	1,277,460	
事業用消耗品	207,993	
合計	3,923,297	

4. 子育て総合支援センター情報発信事業

担当課：子ども総務課

◎事業目的

子育て総合支援センターでの子育て相談事業の利用度向上を目的に、同センターからの情報発信機能を高める情報サイトの構築を図る。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

○事業内容

- ・子育て情報サイト「**ころころネット**」(別添 3)のスマートフォン版の構築とリリース
「ころころネット」は東村山市内の子育て情報をまとめたサイトで、平成 24 年より運営を開始。平成 27 年 4 月から、新しい「子ども・子育て支援新制度」が施行され、これに対応するためホームページのメンテナンス及びスマートフォン対応画面の作成を、有償ボランティアとして募集した利用者親子 9 組で実施した。

※東村山市子育て総合支援センター

平成 20 年 10 月に開設し、平成 24 年度からは、民間事業者の能力を活用し、地域住民に対する子育て支援のサービス事業を効果的・効率的に行うために、指定管理者制度を導入し、管理・運営を行っている。平成 24 年度から運営主体は、東村山市子ども NPO ユニットが行っている。

平成 27 年度来館者数 51,240 人 1 日平均約 200 人

◎KPI (重要業績評価指標)

子育て総合支援センターの利用満足度を毎年度増やす。

- ・「ころころネット」アクセス数

45,843 (平成 26 年度) ⇒ 50,007 (平成 27 年度)

うち、モバイルからのアクセス数 32,199 (64.39%)

○担当課所見

スマートフォン版のサイト作成により、子育て世代の方が気軽にアクセスし情報収集が出来るようになり、アクセス数も増加した。今後は、登録されている団体に対して、自発的なイベント情報のアップを促したり、利用者同士のコミュニケーションツールとして、掲示板などの機能の拡充を図る。

◎経費内訳

項目	実績額 (円)	備考
子育て総合支援センター情報発信業務委託料	1,976,400	市内 NPO 法人へ
合計	1,976,400	

5. 保育環境改善事業

担当課：子ども育成課・児童課

◎事業目的

保育環境の改善を目的に、公立保育園等の屋外遊具・室内備品を入替え、地域に園庭解放を行う。また保育環境の良さをPRするとともに、地域開放型の屋外イベントの実施、子育てに関する各種相談事業を各園で実施する。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成27年4月～平成28年3月

○事業内容

- ・市内の7保育園にて、老朽化した遊具の撤去及び新設。
- ・市内の7保育園にて、**地域開放型のプログラム（別添4）**を6回実施。

（参加人数は7保育園での合計人数）

「新沢としひこ&ケロポンズ ジョイントコンサート」：1,154人参加

「荒馬座おまつりひろば」：1,103人参加 「荒馬座ワークショップ」：372人参加

「人形劇団ポポロ」：1,090人参加 「池谷幸雄体操教室」：920人参加

「大友剛マジックと絵本のコンサート」：1,065人参加

- ・市内の5児童館にて、子供向けプログラムを実施（全10プログラム）。
将棋道場、囲碁教室、ダンス教室、コンサート、大道芸体験など

◎KPI（重要業績評価指標）

地域子育て支援事業等の参加者を毎年度増やす。

- ・実施した6プログラムに関して

1 保育園の1プログラムあたりの参加人数平均 135名

うち、保育園関係以外の地域の方の参加人数平均 35名

○担当課所見

保育園の老朽化した遊具の入れ替えを行い、子ども達が安心して遊ぶ事が出来る環境を作る事が出来た。また、地域と連携した子ども向けプログラム等を実施する事で、保育園だけでなく地域で子ども達を育てていく環境を整えていく。

◎経費内訳

項目	実績額（円）	備考
保育園屋外遊具入替工事	8,509,320	7園にて遊具の入れ替え
保育環境改善事業チラシ等印刷製本費	159,354	
子ども向けプログラム実施委託料	12,600,000	6プログラム×7園にて実施
保育環境改善事業用消耗品費	386,579	
保育環境改善事業用修繕料	16,686	
保育園備品購入費	641,120	
子ども向けプログラム実施委託料	700,000	5児童館にて実施
合計	23,013,059	

6. 国内販路拡大事業

担当課：産業振興課

◎事業目的

市の地域物産ブランド「里に八国」をはじめとする地域物産品の新たな販路拡大につながる事業所の取り組みを総合的に支援することを目的とする。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成 27 年 11 月～平成 28 年 3 月

○事業内容

平成 27 年 11 月に開催された国内販路拡大事業支援対象事業者選考会にて選ばれた、豊島屋酒造株式会社において、製品の販売拡大やブランドイメージの構築、東村山市の産業の核としての確立を図った。

- ・インターネットを活用した PR

ホームページのリニューアル

PR 動画の作製、YouTube にて配信

- ・公共交通機関等を活用したイベント PR

西武鉄道での中吊り広告、**冊子 (別添 5)** の作成により、主催イベントや事業者や製品等の PR を実施

- ・新たな顧客確保に向けたファンづくりイベントの開催等

家族で楽しむ江戸・東京の酒蔵ひなまつり 3/6 開催 約 350 名参加

ワークショップ形式にて交流スペース「縁醸しの場」を豊島屋酒造敷地内に創設

3/13、3/27 に 2 回開催 合計 30 名参加

ジビエ料理×日本酒イベント 3/27 開催 26 名参加

◎KPI (重要業績評価指標)

販路開拓 PR 実施物産品：3 品

- ・平成 27 年度実績：豊島屋酒造の商品を、作成したパンフレットやホームページ上にて 3 品以上 PR を行った。

○担当課所見

27 年度は市内産品の販路拡大を目指す土台作りとして事業を実施した。28 年度は「地方創生加速化交付金」の事業を活用し、豊島屋酒造株式会社を軸に更に市内事業者間の展開を図り、東村山ブランド「里に八国」及び市内農産物等の販路拡大を目指す、「酒蔵からはじめる販路拡大・交流ビジネス事業」を実施する。

◎経費内訳

項目	実績額 (円)	備考
国内販路拡大等支援業務委託料	14,897,091	コンサルタントへ委託
合計	14,897,091	

7. 観光情報発信事業

担当課：産業振興課

◎事業目的

市が保有する資源資源を集約し、情報発信力の強化を図ることを目的に観光情報サイトを構築する。観光ルートの他、飲食店情報等を含め、地域の活性化、地域産業の振興を進める。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月

○事業内容

- ・観光情報サイト「のめっ恋まちひがしむらやま info」の構築及びサイト案内のパンフレット（別添 6）の作成。

市より、東村山観光振興連絡会へ補助金を交付し、観光振興連絡会が事業を実施した。サイトの構築業務については、プロポーザル方式により決定、委託業者が行った。

◎KPI（重要業績評価指標）

観光振興イベント来場者数を毎年度増やす

- ・菖蒲まつり 来場者数
87,000 人（平成 27 年度） ⇒ 91,000 人（平成 28 年度）
- ・駅からハイキング（菖蒲まつり期間中に J R 新秋津駅で開催）
2,200 人（平成 27 年度） ⇒ 3,000 人（平成 28 年度）

○担当課所見

これまで市のホームページや商工会のホームページなど、市内のイベントや観光情報が分散していたものを、「のめっ恋まちひがしむらやま info」に集約する事で、市内の観光情報を一度で知ることが出来るようになった。引き続き随時情報を更新し、観光ポータルサイトとして多くの方に利用していただく。

◎経費内訳

項目	実績額（円）	備考
東村山観光振興連絡会補助金	3,802,356	東村山観光振興連絡会へ交付
合計	3,802,356	

8. 防災ガイドマップ作成事業

担当課：防災安全課

◎事業目的

地域の防災力向上を目的に、地域毎の防災情報等を掲載した冊子を作成し、全戸配布する。防災訓練を通して自助・共助の意識向上を図るとともに、自主防災組織との連携を行い、防災に強い安全・安心な市として市民の定住化を図る。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月

○事業内容

- ・市民の防災に関する理解を深め、防災意識の高揚を図ることを目的として、平成 21 年度に作成した防災マップを更新し、平成 26 年度に修正した東村山市地域防災計画に示す市内の避難所、防災施設などを地区別マップで示すほか、防災に関する啓発情報などを掲載したガイドマップ（別添 7）を 100,000 部作成。市内全世帯へ配付。

○KPI（重要業績評価指標）

防災ガイドマップを活用した講習会を 3 回開催する。

平成 27 年度実績：2 回

※平成 28 年度 6 月末時点で、今年度 5 回開催済。

○担当課所見

近年地震や豪雨など大きな自然災害が全国各地で起きている状況を踏まえ、ガイドマップを通じて地域毎の防災情報等、最新の情報を提供し、市民の防災意識の高揚を図る事が出来た。今後は、自治会や町内会など地域での会議の際に防災ガイドマップを配付し、市民の防災に関する理解を深めることに活用する。

◎経費内訳

項目	実績額（円）	備考
防災ガイドマップ作成委託料	6,563,700	
防災ガイドマップ配付委託料	2,649,780	シルバー人材センターへ委託
合計	9,213,480	

9. シティプロモーション推進事業

担当課：企画政策課・都市マーケティング課

◎事業目的

市がロケ地となった、カンヌ国際映画祭出展作品である映画『あん』を通じたシティプロモーション活動を行うとともに、ハンセン病の人権啓発活動を行うことを目的とする。

◎事業概要

○実施期間

- ・平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月

○事業内容

- ・映画『あん』のロケ地を HACK せよ！ INGRESS ミッション in 東村山 の実施。
スマートフォンゲーム「INGRESS」上に映画『あん』のロケ地を巡る「ミッション」を 6 コース設定し、まち歩きをしていただいた。 11/22 開催 1,037 名参加
※INGRESS・・・スマートフォン向けゲームアプリ。現実世界と仮想世界が重なったマップ上を、スマートフォンの位置情報サービスを使いながら移動し、2つの陣営に分かれて陣取り合戦を行うゲーム。
- ・小説「あん」を原作として構成された朗読劇「あん」を全国に先駆けて開催
9/23 開催 約 300 名参加（2 回講演）
- ・映画『あん』の舞台となった多磨全生園と久米川駅周辺のロケ地について、映画『あん』を観た市民の感想と、映画関係者のインタビューを盛り込み、映画『あん』のロケ地マップ“あんがこのまちに残したもの”（別添 8）を製作。 日本語版マップ 20,000 部、外国語版マップ 3,000 部（英語・中国語・韓国語 各 1,000 部） 作成

◎KPI（重要業績評価指標）

PR に協賛する店舗等の数：50 件

- ・ロケ地マップや朗読劇のチラシは、あんのまち東村山実行委員会より、50 件以上の店舗及び施設に配付、設置した。
- ・「INGRESS」イベントでは 24 店舗に協賛いただいた。

○担当課所見

映画『あん』を通じて、東村山市の魅力や、全生園をはじめとするハンセン病についての知識や歴史を、市内のみならず市外の方へ広く周知することが出来た。また、INGRESS を活用する事で、ユーザーの多い若者世代に対してもゲームを通じてそれらを知ってもらうことが出来た。今後も、当市ならではの地域資源の可能性を追求して様々なツールを用いて東村山の魅力を発信し、東村山市の認知度の向上を図る。

◎経費内訳

項目	実績額（円）	備考
シティプロモーション事業補助金	619,700	INGRESS イベント
映画『あん』画像著作権使用料	864,000	INGRESS イベントにて使用
シティプロモーション事業補助金	244,796	小説「あん」朗読劇
シティプロモーション事業補助金	1,953,673	映画『あん』ロケ地マップ
合計	3,682,169	